

都心における環境配慮に関する指針



2019 年 4 月

名古屋市

目 次

指針策定の考え方	・・・ P. 1
1 策定の目的	
2 構成と使い方	
(1) 構成	
(2) 環境配慮の方法と指針の使い方	
第 1 章 背景と現状	・・・ P. 3
1 国際社会における都市の持続可能性に対する意識の高まり	
(1) 持続可能な開発目標「SDGs」	
(2) 不動産投資における「ESG」	
(3) 都心における「グリーンインフラ」	
2 自然環境の将来予測	
(1) 豪雨の増加	
(2) 真夏日、熱帯夜の増加と真冬日の減少	
(3) 都心の乾燥化	
(4) 地震の発生	
3 都心の現状	
(1) リニア中央新幹線の開業	
(2) 都心における国及び名古屋市の開発促進施策	
ア 都市再生緊急整備地域・特定都市再生緊急整備地域の指定	
イ 都心に係る制度の見直し	
ウ 容積率緩和制度の運用方針	
対象区域	
1 面積	
2 昼間人口	
3 土地利用	
第 2 章 4 つの課題	・・・ P. 18
課題 1 ヒートアイランド現象の緩和	
課題 2 温室効果ガス排出量・エネルギー消費量の削減	
課題 3 健全な水循環の回復	
課題 4 廃棄物の減量	

第3章 4つの方針・・・・・・・・P. 28

- 1 4つの方針
- 2 方針の内容と環境配慮事項
 - 方針1 ヒートアイランド対策の推進
 - 方針2 低炭素なまちづくりの推進
 - 方針3 水循環機能の回復
 - 方針4 廃棄物減量・リサイクルの推進
- 3 環境配慮事項の主な目的と副次目的

第4章 対象・・・・・・・・P. 34

- 1 対象者
- 2 対象物
- 3 対象事業

第5章 環境配慮事項・・・・・・・・P. 36

共通する環境配慮事項

- 環境配慮事項 1-1 人工排熱の低減
- 環境配慮事項 1-2 人工被覆域の改善
- 環境配慮事項 1-3 緑などによる日射の遮断と蒸散効果の活用
- 環境配慮事項 2-1 ZEB 化の推進
- 環境配慮事項 2-2 省エネルギー設備の整備推進
- 環境配慮事項 2-3 電気自動車等の普及と利用形態の多様化
- 環境配慮事項 2-4 再生可能エネルギー・未利用エネルギー・水素エネルギーの利活用
- 環境配慮事項 2-5 木質化の推進
- 環境配慮事項 3-1 雨水の浸透・貯留の推進
- 環境配慮事項 3-2 雨水・湧水（地下漏水）の活用
- 環境配慮事項 4 事業系廃棄物の発生抑制及びリサイクルの推進

本指針策定に係るヒアリング有識者